

こうとう民報

2014年 6月号 116

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 江東区民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

住民運動と共同し、労働運動の発展強化を!



大会で選出された役員のみなさん

5月25日、第24回江東区労連定期大会を東京土建江東支部会館で開催されました。主催者挨拶に立った名越議長は「安倍政権の憲法改悪、労働法制改悪に対し、江東からたかいの輪を広げよう」と訴えました。この大会には、代議員・来賓など88名が参加しました。

13年度活動報告は、地域の労働組合運動の発展・強化と共に、地域の住民運動との共同を広げる取り組みの経過を報告しました。

「ひとりぼっちの労働者をなくそう」と、地域の未組織労働者の組織化を進め、09年の江東区労連ローカルユニオンを結成、昨年は40名の組合員を拡大し179名の組織に前進。未組織労働者の組織化、職場組織の強化と次世代組合幹部育成に全力をあげてきました。

地域要求の実現や平和の運動で、憲法改悪に反対する「9の日宣伝」など、職場組織と共同して取り組んできました。

質問では、自治体の役割は住民福祉の向上や中小企業支援などであり、ギャンブルに地域経済活性化を期待することとは間違いと指摘。住民や青少年に悪影響を及ぼし、犯罪

臨海部へのカジノ誘致 許さない世論を

許さない世論を

集団の温床にもなる賭博場を臨海部へ誘致することには反対すべきであること。

また、ギャンブル依存症は世界各国の有病率1%に対し、

都立墨東病院を直営で存続させる会 第4回総会開く



来賓挨拶するあぜ上三和子都議

6月14日午後、カメリアプラザで開かれた総会には、墨東病院の利用者を中心に江東・墨田・江川から約30名が参加しました。

は、安倍自公政権が強行した消費税8%の大増税、特定秘密保護法の強行可決、解釈改憲による集団的自衛権容認の動きなど、「海外で戦争する国」へと危険な動きを強調し、14年春闘では、世論に押された安倍首相が財界に賃上げを要請するという異例な事態のな

に結びつけることは効果的、など手放しで礼賛する一方、治安の悪化や青少年への悪影響には、「十分な検討がなされるもの」、「必要な措置をとる」などと言い、きわめて無責任な対応です。

刑法が禁止する「賭博」に依存するような地域経済の「活性化」など許すわけにはいきません。

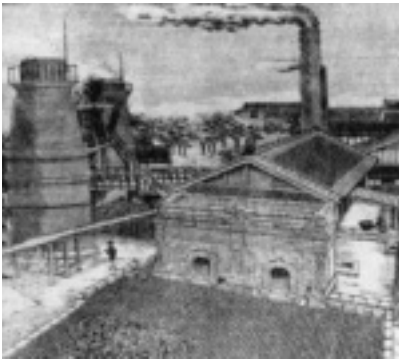
共産党区議団は健康で文化的な生活を保障する自治体の役割を追求し、「賭博」の上陸を許さないためにみなさんと力を合わせます。

潮騒

梅雨の晴れ間に湧き出る入道雲は、酷暑の夏の到来を告げているようです。国会の会期末、医療・介護や教育など

にかかわる悪法が次々に可決され、誰もが地団太を踏む思いをしているのではないのでしょうか。戦前の翼賛国会を想起させるような8与野党共同提案の、欠陥だらけの改憲手続き法も強行されました。その他にも、08年のリーマンショックで国内外の株式で17・4兆円もの損失をだしたにもかかわらず、アベノミクスの成長戦略のためにリスクをかえりみず、国民の財産である年金積立金の株式運用を拡大しようとしています。庶民の家計が冷え込み、大企業の内部留保がふくらむも、景気上昇を演出して来年の消費税10%への口実にするつもりでしょう。さらに、税制改悪にも着手して、赤字企業からでも徴税できるような課税ベースを拡大する一方で、財界いいなりに法人税を20%台に下げ、方針が表明されました。国民いじめの数々の悪政がめざしているのは「戦争する国」への地固めであることは明らかです。戦後69年も戦争放棄の憲法9条を守って、国際的にも平和国家としての信頼を醸成した歴史を、根底からくつがえす暴挙はなんとしても阻止しなければ。フェアプレイと相手への敬意をモットーにしたサッカーのワールドカップの熱戦に沸きかえっている時だからこそ!

「官営工場とその払い下げ」



官営工場・撰綿篤製造所

概説

江東の歴史 (34)

「富国強兵、殖産興業」をめざす政府は、軍拡のために資本主義育成をはかり、官営工場を政商に払い下げました。

石川島造船所は、ペリー来航の年、幕命により水戸の徳川齊昭が隅田川河口の石川島につくりました。1871(明治4)年、兵部省海軍部造船局の管轄とし、後に海軍省に移しますが、横須賀造船所が整備されると、1876(明治9)年には廃止しました。

同年、平野富二がこれを借りて民営「石川島平野造船所」を設立。1888(明治21)年には海軍省注文の砲艦「鳥海」624トン完成了しました。平野死後の1893(明治26)年、渋沢栄一を会長とする株式会社となりました。

豊洲に第二、第三、工場が造られたのは、1937(昭和12)年に日中戦争が始まってからです。

浅野セメントの前身は、大蔵省が1872(明治5)年に清澄の仙台藩屋敷跡につくった「撰綿篤製造所」です。1875(明治8)年に日本ではじめてセメント製造に成功。1878(明治11)年、「白練化石製造所」でレンガも製造。官営工場としての最大の供給先は、セメントが皇居造営、レンガは陸軍砲兵工廠でした。

1880(明治13)年、政府は「工場払下概則」で赤字経営の官営工場の払い下げを決めました。西南戦争で暴利を得た浅野総一郎は渋沢栄一を動かし、1884(明治17)年、セメント製造所の払い下げを受け、レンガ製造所は西村勝三に払い下げられました。

両工場資産は10万1559円、これを浅野は6万1741円、西村は1万2121円、25年賦で返す条件でした。しかし、浅野は初め2年分を払うと、年賦を35年に延長、しかも残金を利引きで1万2203円の一時払いという特権で、総額1万6997円という価格で手に入れたのです。

この深川にセメント工業が発達したのは、都心に近いことと、仙台堀や小名木川の川底の粘土が原料になったからで、猿江に鈴木セメント、大島に日本セメントがあります。

江東青年後援会&民青同盟江東協議会～青年学習講座～

ブラック企業をなくそう!



吉良よし子参議院議員は、「長時間・超過密労働を課すようなブラック企業が横行する背景には非正規雇用化がある」と指摘。個人の都合に関係なく無理やりシフトをいれられる、売り物の残りを無理やり買取りさせられるなどブラックバイトの実態や、ノルマを達成できなければ、すべてを自分で買い取らなければいけない「自爆営業」の実態を怒りを込めて語りました。

6月7日、江東区青年日本共産党後援会・日本民主青年同盟江東地域協議会共催の青年学習講座「ブラック企業をなくそう!」が、講師に吉良よし子参議院議員を迎えて開かれました。

最後に、憲法問題にふれて「例えどんな憲法が国会で通ったとしても、憲法があればこれに照らして『違反じゃないの!』と追及することができない。憲法を守り生かすことは、労働問題を考えるうえでも重要ですよ」と訴えました。

江東革新懇総会・交流の夕べ



活動報告をする田村勲事務局長

5月23日、江東区文化センターにて江東革新懇の総会・交流の夕べが開かれました。

活動報告にたった田村勲事務局長は、「憲法改悪や社会保障の改悪、集団的自衛権行使容認、原発など様々な問題があるが、各地で一点共闘の輪が広がっている。江東でも共同の力を大きくしていきたい」と決意を語りました。

東京東部法律事務所に加藤芳文弁護士は、福島原発事故被害者とともにたたかっている訴訟について報告。原告のひとり、原発事故が原因で首を吊って自殺した父親のみならずから下ろしました。農家を

* 固定残業代 企業側があらかじめ残業代を設定し、決められた時間をクリアしなければ、その分の賃金は支給されない仕組み。求人情報では、基本給の中に固定残業代が含まれて掲載されている場合が多く、実際には、最低賃金ギリギリの給与しか受け取れない実態が多発しています。

映画「ひまわり」上映会

6月5日、江東文化センターにて映画「ひまわり」沖繩は忘れられないあの日の空を」の上映会(主催・江東社会保障協議会)が行なわれ800名を超える人が観賞しました。「ひまわり」の上映に先だち、ジェット機の墜落炎上を目の当たりにした中村玉枝さん(当時、宮森中1年生)は「54年間、家族や友人にも誰にも事故の様子を語ることもなく過ごしてきた。映画『ひまわり』と出会い、いまでは自ら足を運び二度と悲惨な事故をくりかえしてはならないと話した。

ようになりました」と当時の様子を紹介しました。○ストーリー○ 占領下の沖繩で1959年に現在のうるま市宮森小学校に米軍ジェット機が墜落し、2000名を超える死傷者を出した事件をもとに、沖繩の現実と基地撤去を求める人々を描きました。

- 行事予定 ○7月5日(土) 13時半 ○消費増税撤回・最賃引き上げ東部地域パレード 錦糸公園オリナス側広場 ○7月6日(日) 14時 ○江東区にカジノ? 学習会 砂町区民館3階、女性後援会 ○7月8日(火) 9時半 ○うたごえ喫茶 ○ティアラこうとう小ホール、ともしび ○7月26日(土) 18時半 ○青年学習講座「日本国憲法を学ぼう」産業会館・第五展示室、青年後援会 & 民青同盟